

名 誉 会 員 追 悼



故 名誉会員 Wei-Kao Lu 君

一般社団法人日本鉄鋼協会名誉会員、カナダ McMaster University 名誉教授 Wei-Kao Lu 先生は、2024 年 12 月 1 日ご逝去されました。ご逝去の報に接し謹んで哀悼の辞を申し上げます。

Lu 名誉教授は、1933 年 4 月 6 日台湾に生まれ、1957 年台湾の成功大学金属工学科を卒業し、1964 年米国 University of Minnesota 金属工学科で博士号取得後、1965 年 McMaster University 助教授、1974 年に同大学教授に就任されました。

1973-1994 年 Stelco Chair Professor of Metallurgy、さらに北京科技大学、ストックホルム工科大学、アーヘン工科大学、東京大学、東北大学の客員教授を務められました。この他 IRSID、BHP 研究所に滞在されています。

Lu 名誉教授は、大学卒業以来長年にわたり、一貫して鉄鋼製精錬の基礎研究を精力的に実施されました。成型炭の研究から製鉄・製鋼の研究、さらには製鋼炉の耐火物の研究まで鉄鋼の上工程の幅広い分野で数多くの優れた業績を挙げられています。その発想、手法とも独創的で、その成果は多くの学術論文として公表され、それらは鉄鋼製精錬研究ならびに実操業における貴重な情報として高く評価されています。

研究活動だけではなく、Stelco Chair of Metallurgy として大学人と産業界の連携に特に尽力されました。その活動は McMaster シンポジウムの創始者として、Blast Furnace Ironmaking Course、さらに Secondary Resources Study Group of Ontario において展開されました。特に McMaster シンポジウムは製鉄・製鋼・環境の技術分野において時代のトピックスをテーマに議論を重視した国際会議として有名であり、世界中の冶金技術者・研究者が集まり活発な研究発表と議論がなされました。このような活動を通じて産学の連携に尽力した功績により、米国鉄鋼協会から、1987 年に T. L. Joseph 賞、1998 年に Howe Memorial Lecture 賞、2007 年に Joseph S. Kapitan 賞を授与されました。

このように卓越した業績は世界各国でも高く評価され、2001 年には日本鉄鋼協会名誉会員に推挙、2017 年に中国金属学会フェローの称号を授与されています。

Lu 名誉教授の研究室には各国から留学生および訪問研究員さらには客員教授が滞在し、その指導および研究協力には定評がありました。東京大学および東北大学客員教授として滞在中には、各製鉄所への訪問、そこでの講演および技術討論もなされており、研究成果や見識が広く日本に伝えられ、製鉄・製鋼・環境に関する日本の研究開発に大いに貢献されました。特に各社の製鉄技術者には影響を受けた人が多くいます。

氏の鉄鋼技術、学術分野への多大なご業績と、本会の発展になされたご貢献を偲び、会員一同、心からの哀悼の意を捧げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

令和 7 年 6 月

日本鉄鋼協会 会長 藤田 展弘